

## GX-L / GF-L シリーズ / GX-L-K シリーズ

# 重量級電子天びん / 検定付き重量級電子天びん クイックスタートガイド

(本体同梱用)

### **GX-L シリーズ** (分銅内蔵タイプ)

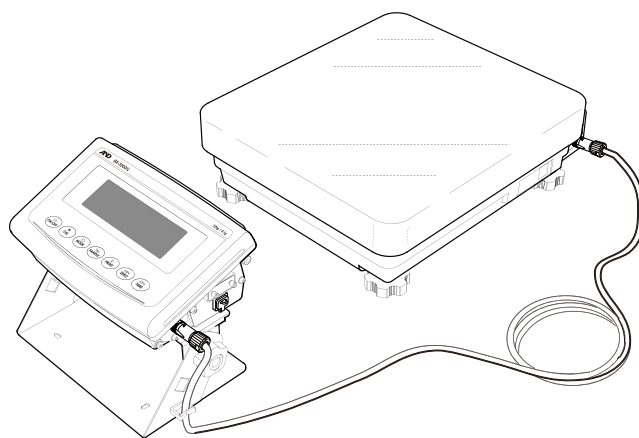
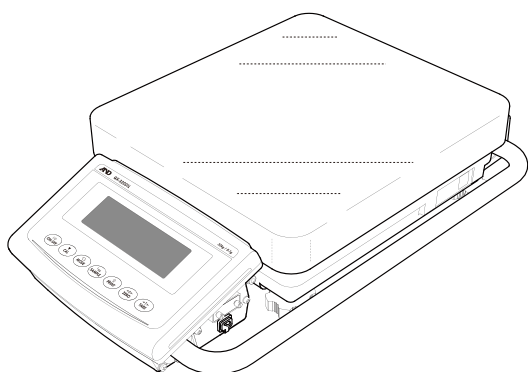
GX-12001L / GX-22001L / GX-32001L / GX-32001LD / GX-42001L / GX-62001L  
GX-62000L / GX-102000L  
GX-32001LS / GX-32001LDS / GX-62001LS / GX-62000LS / GX-102000LS

### **GF-L シリーズ** (ベーシックタイプ)

GF-12001L / GF-22001L / GF-32001L / GF-62000L

### **GX-L-K シリーズ** (検定付き・分銅内蔵タイプ)

GX-12001L-K / GX-22001L-K / GX-32001L-K / GX-32001LD-K / GX-62000L-K / GX-102000L-K  
GX-32001LS-K / GX-62000LS-K / GX-102000LS-K



GX-L / GF-L シリーズの別冊  
の取扱説明書はこちらから  
ご覧ください



GX-L-K シリーズの別冊の取  
扱説明書はこちらからご覧  
ください



**AND** 株式会社 **エー・アンド・デイ**

# 注意事項の表記方法

**⚠注意** この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

**注意** 正しく使用するための注意点の記述です。

**アドバイス** 「取り扱いを誤りやすい場合」や「本機を使用するときの一般的なアドバイス」について記述します。

## 注意

- (1) この取扱説明書（以下、本書）の一部またはすべてを、株式会社エー・アンド・デイ（以下、弊社）の書面による事前の許可なく、転載・複製・改変・他言語への翻訳を行うことを禁止します。本書の内容は、将来予告なく変更することがあります
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容について、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 弊社では、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益、および、本製品の欠陥または本書の不備により発生する直接、間接、特別または必然的な損害について、仮に当該損害が発生する可能性があるとは告知された場合でも、一切の責任を負いません。また、第三者からなされる権利の主張に対する責任も負いません。同時に、ソフトウェアやデータの損失の責任を一切負いません。

# 目次

1.	クイックスタートガイドについて.....	4
1-1.	別冊の詳細説明書 .....	4
2.	組立・設置 .....	4
2-1.	計量前の注意（設置条件と計量準備） .....	8
3.	表示とキーの基本操作（基本動作） .....	9
4.	感度調整.....	11
4-1.	自動感度調整（GX-L/GX-L-K シリーズ） .....	11
4-2.	内蔵分銅による感度調整（GX-L/GX-L-K シリーズ） .....	11
4-3.	お手持ちの分銅による感度調整（GX-L/GF-L シリーズ） .....	12
5.	エラー表示（エラーコード） .....	13
6.	その他の表示 .....	15
7.	仕様.....	16
7-1.	GX-L/GF-L シリーズ .....	16
7-2.	GX-L-K シリーズ .....	17

# 1. クイックスタートガイドについて

このたびは、エー・アンド・デイの重量級電子天びん GX-L / GF-L シリーズ、検定付き重量級電子天びん GX-L-K シリーズをお買い上げいただきありがとうございます。本書は電子天びんの設置方法と基本的な機能や操作を記載した説明書です。

より詳細な内容につきましては「1-1. 別冊の詳細説明書」に記載されているマニュアルを参照してください。

## 1-1. 別冊の詳細説明書

天びんの機能や操作手順は本書以外でも、別冊にて詳しく説明しています。

以下のマニュアルは弊社ホームページ <https://www.aandd.co.jp> からダウンロードできますので参照してください。

### 【GX-L / GF-L シリーズ 取扱説明書】

- 重量級電子天びん GX-L / GF-L シリーズを理解し、十分に活用していただくための取扱説明書です。



取扱説明書はこちらからご覧ください。

### 【GX-L-K シリーズ 取扱説明書】

- GX-L-K シリーズは「取引・証明」の計量に使える基準適合証印又は検定証印付き電子天びんです。「取引」や「証明」に使用する天びんは、2年毎に計量法に基づく定期検査を受ける必要があります。定期検査については、各都道府県計量検定所までお問い合わせください。
- 検定付き重量級電子天びん GX-L-K シリーズを理解し、十分に活用していただくための取扱説明書です。



取扱説明書はこちらからご覧ください。

# 2. 組立・設置

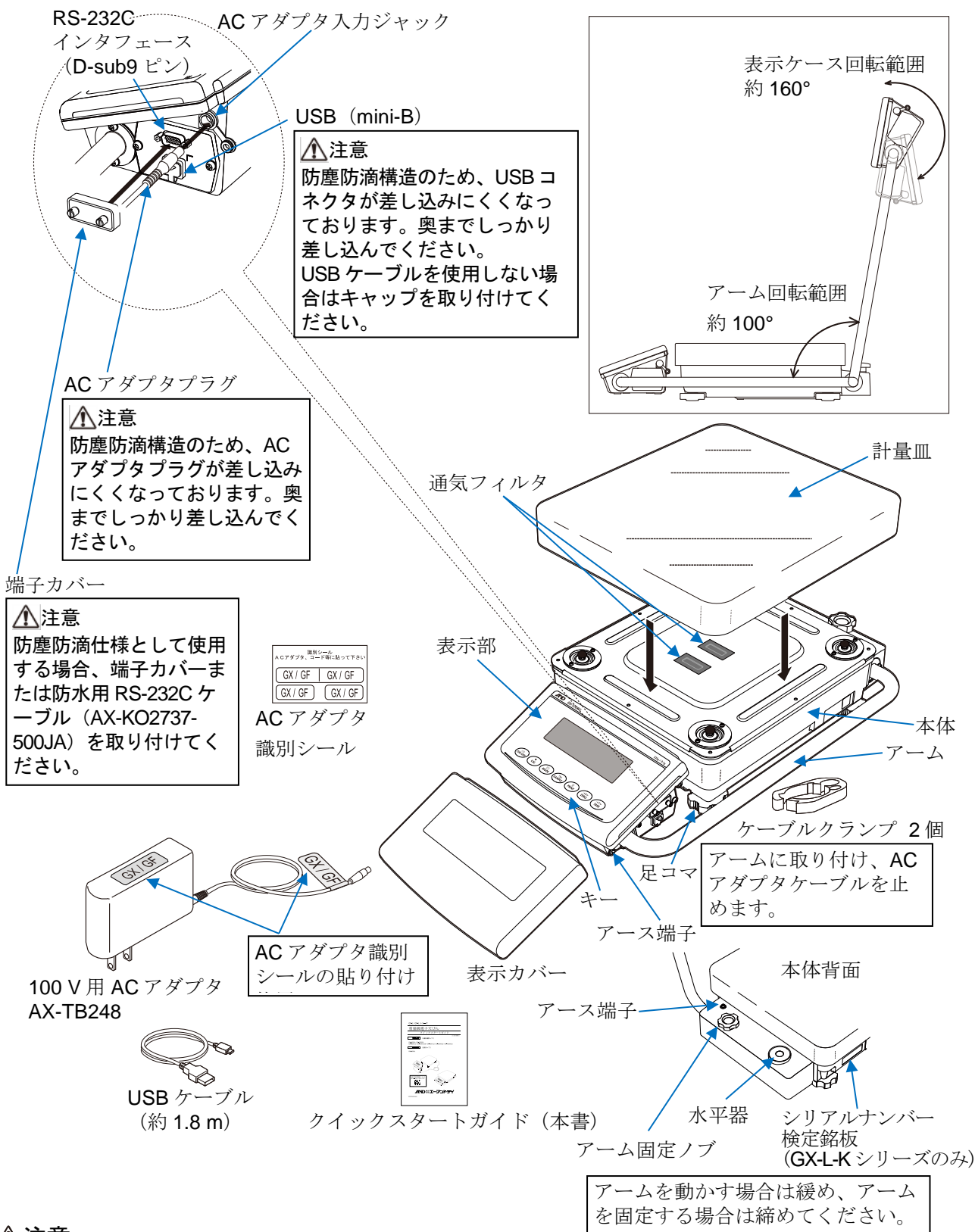
本製品は精密機器ですので、開梱時の取り扱いにはご注意ください。

梱包内容は天びんの機種により異なります。次ページの図を参照してすべてのものが含まれていることを確認してください。

なお、梱包箱等は修理時の輸送等に必要となりますので、保管されることをお勧めします。

## (1) スイングアーム型

GX-12001L / GX-22001L / GX-32001L / GX-32001LD / GX-42001L / GX-62001L / GX-62000L / GX-102000L  
 GF-12001L / GF-22001L / GF-32001L / GF-62000L  
 GX-12001L-K / GX-22001L-K / GX-32001L-K / GX-32001LD-K / GX-62000L-K / GX-102000L-K

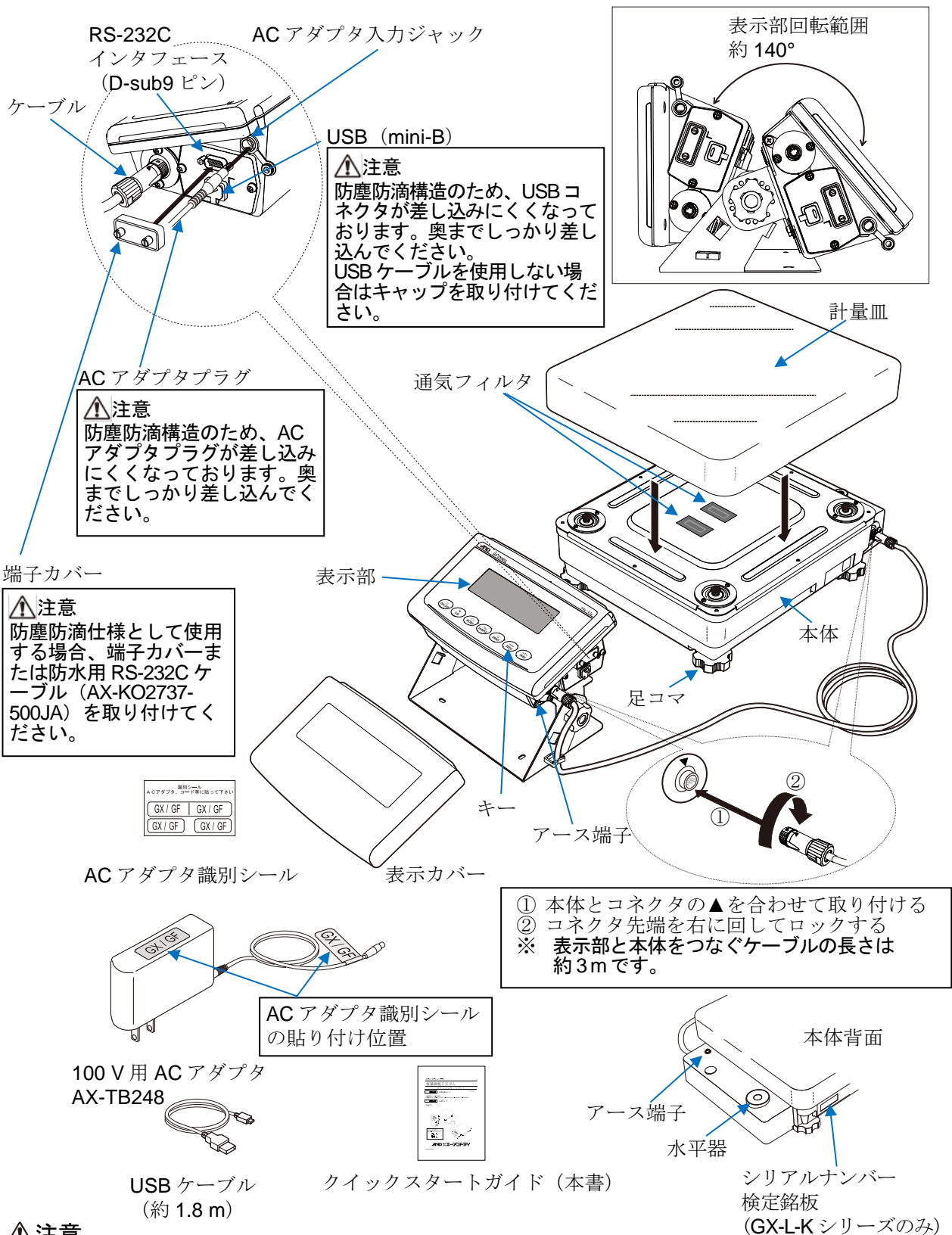


### 注意

- 天びんは指定された専用 AC アダプタを使用してください。
- 付属の AC アダプタは他の機器には接続しないでください。
- 使用する AC アダプタを間違えると、天びん及びその他の機器が正しく動作しない可能性があります。

## (2) 表示部分離型

GX-32001LS / GX-32001LDS / GX-62001LS / GX-62000LS / GX-102000LS  
GX-32001LS-K / GX-62000LS-K / GX-102000LS-K




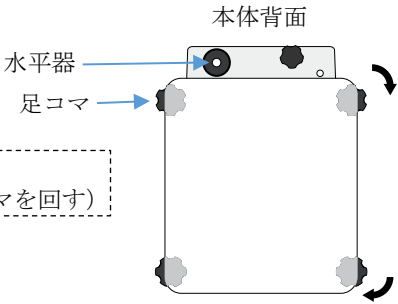

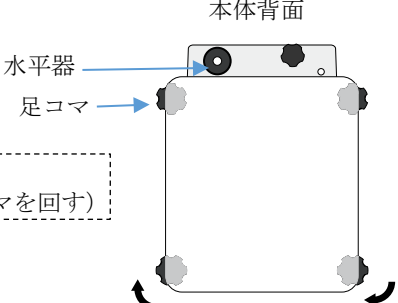

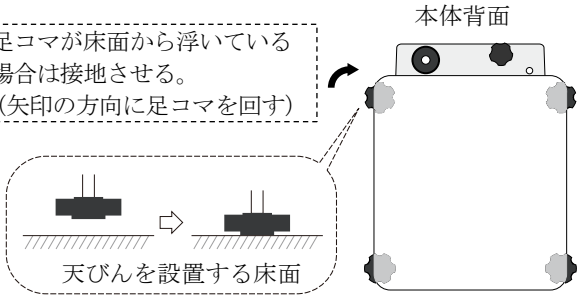
### **注意**

- 天びんは指定された専用 AC アダプタを使用してください。
- 付属の AC アダプタは他の機器には接続しないでください。
- 使用する AC アダプタを間違えると、天びん及びその他の機器が正しく動作しない可能性があります。
- 天びんが複数台ある場合、天びん本体と表示部のシリアルナンバーが同じであることを確認してケーブルを接続してください。異なるシリアルナンバーの天びん本体と表示部を接続した場合は正しく動作しません。

## 足コマの調整方法

(例) 水平器が下記の場合の手順

○ 水平器の円      ● 気泡

水平器	手順	足コマの調整方法
 <p>天びん本体の左側が高く傾いています。</p>	<p>① 左右の傾斜の調整</p> <p>足コマを回して高さを調整します。</p> <p>(この例では右図のように右側を高くします。)</p>	 <p>右側を高くする。 (矢印の方向に足コマを回す)</p>
 <p>天びん本体の背面が高く傾いています。</p>	<p>② 前後の傾斜の調整</p> <p>足コマを回して高さを調整します。</p> <p>(この例では右図のように前面を高くします。)</p>	 <p>前面を高くする。 (矢印の方向に足コマを回す)</p>
 <p>天びんは水平です。</p>	<p>③ 足コマの確認</p> <p>四方の足コマが床面から浮いていないか確認します。床面から浮いている場合は、足コマを回して接地させます。</p> <p>水平器の円から気泡がずれないように注意してください。</p>	 <p>足コマが床面から浮いている場合は接地させる。 (矢印の方向に足コマを回す)</p> <p>天びんを設置する床面</p>

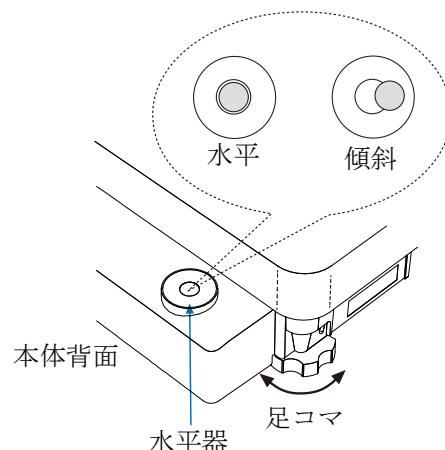
### アドバイス

- 気泡の位置が水平器の円から大きくずれている場合、**[LIL]** と表示されます。この場合は天びんが傾いている可能性がありますので、水平器の円の中に気泡が入るように調整してください。または、**[ON:OFF]** キー以外のキーを押すことで **[LIL]** 表示を解除することができます。ただし、キーによる解除をするとその後は **[LIL]** が表示されません。**[LIL]** を表示させたい場合は、ACアダプタを抜き差しして電源を切ってください。
- 感度調整をすることで現在の設置状態を水平の基準と記憶します。感度調整は「4.感度調整」を参照してください。

## 2-1. 計量前の注意（設置条件と計量準備）

電子天びんの性能を十分に引き出すために、下記の設置条件を整えてください。

- 理想的な設置条件は、 $20\text{ }^{\circ}\text{C} \pm 2\text{ }^{\circ}\text{C}$ 、湿度 45 ~ 60 %RH の安定した環境です。
- 塵埃の少ない部屋に設置してください。
- 堅牢で平らな床面に設置してください。（軟らかい床には設置しないでください。）
- 天びん台を使用する場合は堅固なものを使用してください。（防振台、石盤が理想です）
- 設置場所に傾きがないか確認してください。
- 振動を避けてください。振動は部屋の中央よりもすみのほうが、また建物の 2 階、3 階よりも 1 階のほうが振動が小さく、計量に適しています。
- エアコン等の風が当たる場所に天びんを設置しないでください。
- 直射日光のあたらない場所に設置してください。
- 磁気を帯びた機器の近くに天びんを置かないでください。
- 足コマを回して水平器の気泡が黒い円の中央に位置するようにしてください。
- 使用前には必ず 30 分以上通電してください。  
（AC アダプタを電源に接続した状態）
- 天びんを初めて使用する場合や使用する場所を変えた場合は天びんを室温になじませるために 12 時間以上、できれば通電状態で放置し、その後感度調整を行ってから使用してください。詳しくは別冊の取扱説明書「7. 感度調整/キャリブレーションテスト」を参照してください。
- 天びんの防塵・防滴レベルは JIS 保護等級 IP65 相当であり、その第二特性数字の 5 は「水の直接噴流による影響を受けない」に該当します。強い水圧での洗浄、計量皿を外した状態での洗浄、水中への水没等は、天びん内部に水が浸入し故障の原因になります。
- 天びんを防塵・防滴仕様の環境に設置して使用する場合は、「計量皿が取り付けられていること」、「表示部分離型の場合は本体と表示部を繋ぐケーブルが取り付けられていること」、「AC アダプタ入力ジャックに AC アダプタのプラグが奥までしっかり差し込まれていること」、「RS-232C インタフェースに端子カバーが装着されていること、または防水 RS-232C ケーブル (AX-KO2737-500JA) が取り付けられていること」、「USB 防水カバーのキャップが取り付けられていること、または USB コネクタがしっかり差し込まれていること」を確認してください。
- 計量皿、RS-232C 用端子カバーを外したり、防水 RS-232C ケーブル (AX-KO2737-500JA) を使用しない場合は、防塵・防滴仕様になりません。
- 計量部を動かすことによる誤差  
本製品は、移動しない状態にて性能を保証しております。天びんを移動させるようなシステムに組み込む場合は、以下にも注意して事前チェックを十分に行ってください。
  - ・ 天びんを動かした場合、衝撃により破損する場合があります。また、動かした直後は、計量値が安定しません。急激な移動・停止・衝撃は避けて、計量データ取得にあたっては、計量値が安定するまでの十分な待ち時間を設けて下さい。
  - ・ 移動装置は天びんの水平が維持できる構造として下さい。水平がずれた場合は、ゼロ点や感度のずれが生じますので、リゼロ操作や感度調整を実施してください。
  - ・ 振動の影響を避けるため、移動用の台は、可動部の遊びを少なくするなど、振動を受けにくい構造として下さい。



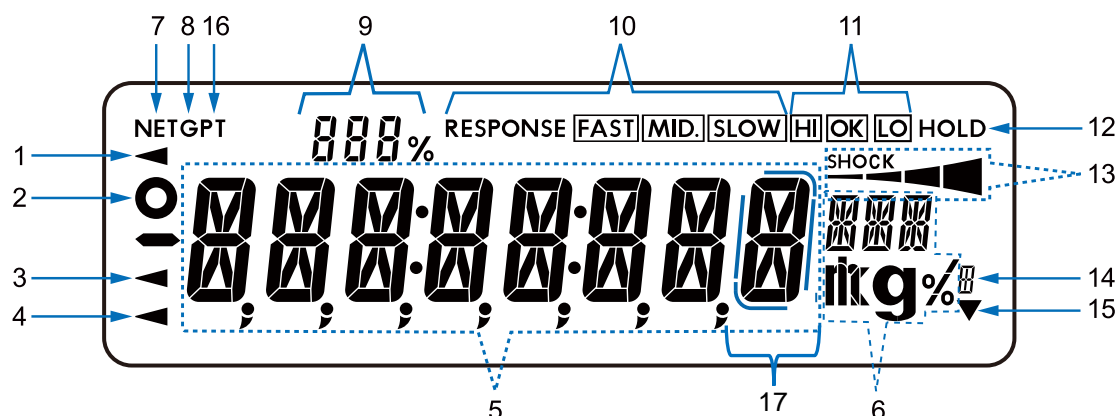
### ⚠注意

腐食性ガス、引火性ガスが漂うところに設置しないでください。

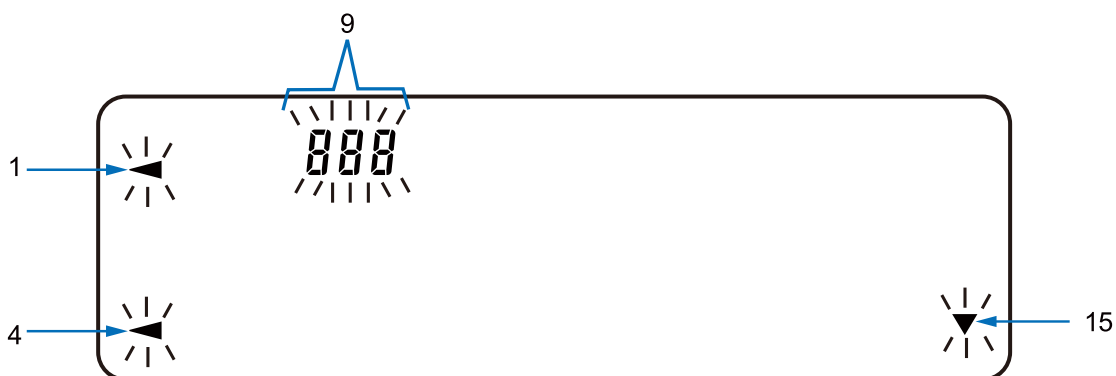


### 3. 表示とキーの基本操作（基本動作）

#### 点灯表示



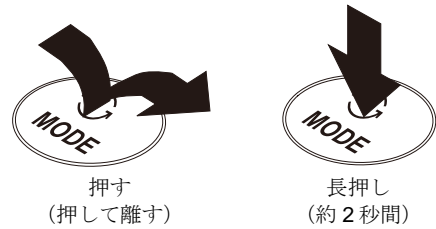
#### 点滅表示



No.	名称
1	処理中マーク
2	計量値の安定マーク
3	USB 接続マーク
4	点灯時：電源のスタンバイ・インジケータ 点滅時：自動感度調整の予告
5	計量値や記憶したデータ、設定項目名を表示
6	単位表示
7	ネットマーク
8	グロスマーク
9	統計データ数(統計演算機能) データメモリナンバ 荷重とひょう量の関係を%表示(ひょう量インジケータ) 内部設定の設定値表示
10	応答特性の設定状態（計量スタート後、約 30 秒点灯）
11	コンパレータ表示
12	表示固定マーク
13	ISD ショックインジケータ
14	グロスゼロマーク
15	点灯時：インターバル出力スタンバイ 点滅時：インターバル出力稼働中
16	プリセットテアマーク (GX-L / GF-L シリーズのみ)
17	補助表示枠 (GX-L-K シリーズのみ)

## キー操作

キーを「押してすぐ離れた場合」と「長押し（約2秒間）した場合」とでは、天びんの動作が異なります。通常の計量操作では、キーを「押してすぐ離す」です。必要がない限り、キーを長押し（約2秒間）しないでください。



キー	キーを押した場合（押してすぐ離す）	キーを長押し（約2秒間）した場合
	表示をオン、オフするキーです。表示をオフすると、スタンバイ・インジケータのみ表示します。表示をオンすると、計量が可能になります。パスワード機能が有効の場合、パスワード入力表示になります。別冊の取扱説明書の「16-2. 計量スタート時のパスワード入力方法」を参照してください。 <b>ON:OFF</b> キーはいつでも有効で、操作中に <b>ON:OFF</b> キーを押せば必ず表示オフになります。	
	内蔵分銅による感度調整を開始します。 (GX-L / GX-L-K シリーズ)	感度調整関連のメニューを表示します。
	内部設定で登録した単位を切り替えます。 <sup>*1</sup> ( <b>g</b> 、 <b>kg</b> 、 <b>PCS</b> 、 <b>%</b> 、 <b>ct</b> 、 <b>mom</b> 、 <b>IS</b> <sup>*2</sup> )	自己点検機能のモードに入ります。 別冊の取扱説明書の「6-2. 自己点検機能 / ECLによる最小計量値（参考値）の自動設定」を参照してください。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 計量表示にて押すと、最小表示の桁をオン/オフします。</li> <li>□ 個数・パーセント表示にて押すと、登録モードに入ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 内部設定のメニューを表示します。別冊の取扱説明書の「9. 内部設定」を参照してください。</li> <li>□ 内部設定のメニュー表示後、さらに長押し（約2秒間）すると、繰り返し性確認の機能を実行します（GX-L / GX-L-K シリーズのみ）。別冊の取扱説明書の「17. 繰り返し性確認の機能」を参照してください。</li> </ul>
	内部設定により安定時に計量値を記憶またはデータを出力します。 (出荷時設定ではデータを出力します)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 個数計量で単位質量登録番号変更モードに入ります。</li> <li>□ 内部設定変更により <ul style="list-style-type: none"> <li>・ GLP/GMPの「見出し」「終了」を出力します。</li> <li>・ データメモリ機能のメニューを表示します。</li> <li>・ 流量測定で密度番号の読み出しモードに入ります。</li> </ul> </li> </ul>
	表示をゼロにします。	
	別冊の取扱説明書の「4-2. 基本的な計量」の「ゼロ点設定、風袋引き、計量範囲について」を参照してください。	

\*1 GX-12001L-K/GX-22001L-K/GX-32001L-K/GX-32001LD-K/GX-32001LS-K は内部設定で ct、mom を登録できません。  
GX-62000L-K / GX-102000L-K / GX-62000LS-K / GX-102000LS-K は内部設定で g、ct、mom を登録できません。

\*2 内部設定で登録することによって選択できます。

## 4. 感度調整

### 4-1. 自動感度調整 (GX-L / GX-L-K シリーズ)

GX-L シリーズは、使用環境の温度変化、または設定時間、インターバル時間により自動的に内蔵分銅を使って天びん感度を調整します。詳細は別冊の取扱説明書の「7-1. 自動感度調整」を参照してください。

#### 注意

GX-L-K シリーズは内蔵分銅による自動感度調整を禁止にすることはできません。

### 4-2. 内蔵分銅による感度調整 (GX-L / GX-L-K シリーズ)

内蔵分銅を使ってワンタッチで感度調整します。

- ① 計量皿に何も載せずに 30 分以上通電してください。
- ② **CAL** キーを押すと **[CAL in]** を表示します。
- ③ 内蔵分銅を使って自動的に感度調整します。振動などを加えないでください。
- ④ 感度調整後、GLP 出力を設定している場合、「感度調整記録」を出力します。
- ⑤ 終了すると自動的に計量表示に戻ります。

#### ⚠注意



「天びんが感度調整のデータを取り込んでいる状態」です。

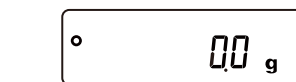
表示しているときは振動や風などを天びんに与えないようにしてください。  
終了すると、自動的にもとの表示に戻ります。

### 4-3. お手持ちの分銅による感度調整 (GX-L / GF-L シリーズ)

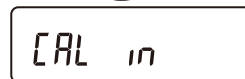
お手持ちの分銅を使って感度調整します。

① 計量皿に何も載せずに 30 分以上通電してください。

② **CAL** キーを長押し (約 2 秒間) します。



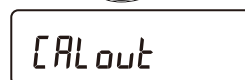
長押し (約 2 秒間) **CAL**



(GX-L シリーズのみ表示)

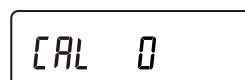
③ そのまま **CAL out** が表示されるまで押し続けます。 **CAL out** が表示されたら、キーから指を離します。

押し続ける **CAL**



**CAL** 離す

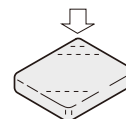
分銅を変更する場合 ←



分銅を変更しない場合

④ 計量皿に何も載せていないことを確認して **PRINT** キーを押してください。

別冊の取扱説明書の「7-5. 分銅値を設定する手順」を参照



**PRINT**

⑤ ゼロ点を計量します。振動などを加えないでください。

ゼロ点計量中

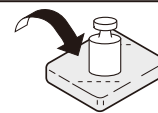


⑥ 分銅値 (kg) が表示されます。

分銅値表示



⑦ 計量皿に分銅を載せ **PRINT** キーを押してください。分銅を計量します。



**PRINT**

⑧ 感度調整値を計量します。振動などを加えないでください。

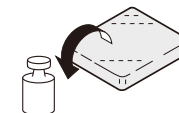
感度調整値計量中



⑨ 計量皿から分銅を取り除いてください。

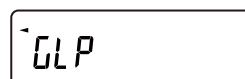


⑩ 感度調整後、GLP 出力を設定している場合、「感度調整記録」を出力またはデータメモリに記憶します。



⑪ 自動的に計量表示に戻ります。

GLP 出力

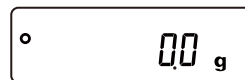


⑫ 分銅を再度載せて、設定値  $\pm 2d$  \*1 であることを確認します。入らない場合は、周囲環境に注意して、①からもう一度やり直してください。



\*1 「d」は最小表示の単位です。

例えば最小表示が 0.1g の場合、1 d は 0.1g となります。

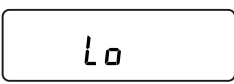
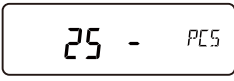
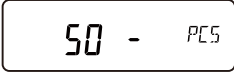
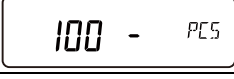
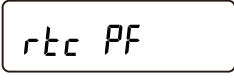

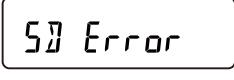
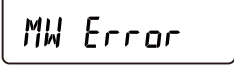
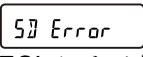
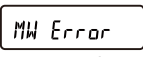
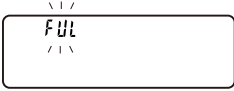
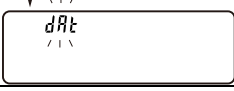


#### ⚠注意

GX-L-K シリーズは検定付き電子天びんのため、お手持ちの分銅による感度調整はできません。

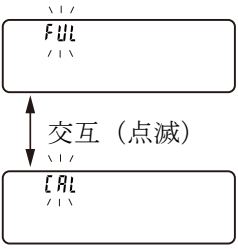


## 5. エラー表示（エラーコード）

エラー表示	エラーコード	内容と対処例
Error 0		天びん内部エラー 継続して表示される場合は、修理を依頼してください。
Error 1	EC, E11	計量値不安定 計量値が不安定のため、「ゼロ表示にする」や「感度調整」などが実行できません。 皿周りを点検してください。別冊の取扱説明書の「2-3. 計量中の注意（より精密な計量を行うために）」を参照してください。 設置場所の環境（振動、風、静電気など）を改善してください。 [CAL]キーを押すと計量表示に戻ります。
Error 2		設定値エラー 入力した値が、設定範囲を越えています。入力し直してください。
Error 3		天びん内部メモリ素子の故障 このエラーが継続して表示される場合は、修理が必要です。
Error 6	EC, E16	内蔵分銅エラー（GX-L / GX-L-K シリーズのみ） 内蔵分銅を昇降して、規定以上の重量変化がありませんでした。皿の上に何も載っていないことを確認し、再度操作してください。再度操作しても改善しない場合は修理が必要です。
Error 7	EC, E17	内蔵分銅エラー（GX-L / GX-L-K シリーズのみ） 内蔵分銅の加除機構が異常です。 再度操作してください。 再度操作しても改善しない場合は修理が必要です。
Error 8		天びん内部メモリデータの異常 このエラーが継続して表示される場合は、修理が必要です。
Error 9		天びん内部メモリデータの異常 このエラーが継続して表示される場合は、修理が必要です。
[CAL] E	EC, E20	CAL 分銅不良（正） 分銅が重すぎます。 皿周りを確認してください。分銅の質量を確認してください。 [CAL]キーを押すと計量表示に戻ります。
-[CAL] E	EC, E21	CAL 分銅不良（負） 分銅が軽すぎます。 皿周りを確認してください。 分銅の質量を確認してください。 [CAL]キーを押すと計量表示に戻ります。
E		荷重超過エラー 計量値がひょう量を越えました。 皿の上のものを取り除いてください。 改善されない場合は、修理を依頼してください。
-E		荷重不足エラー 計量値が軽すぎます。皿が正しく載っていません。 皿を正しく載せてください。感度調整を行ってください。
Error 5		荷重超過エラー 計量値がひょう量を越えました。 皿の上のものを取り除いてください。 改善されない場合は、修理を依頼してください。
-Error 5		荷重不足エラー 計量値が軽すぎます。皿が正しく載っていません。 皿を正しく載せてください。改善されない場合は、修理を依頼してください。

エラー表示	エラーコード	内容と対処例
		<b>サンプル質量エラー</b> 個数、パーセント計量のサンプル登録中、サンプル質量が軽すぎることを示しています。そのサンプルは使用できません。
  		<b>サンプル不足</b> 個数計モードでサンプル質量が軽すぎるため、そのまま登録すると計数誤差が大きくなる可能性があります。 サンプルを追加せずに <b>PRINT</b> キーを押せば計数表示になりますが、正確な計数のため、表示されている数になるようにサンプルを追加してから、 <b>PRINT</b> キーを押してください。
		<b>時計のバッテリーエラー</b> 時計のバックアップ電池がなくなりました。いずれかのキーを押した後、日付・時刻の調整を行ってください。時計のバックアップ電池がなくなっても、天びんが通電されていれば正常に動作します。頻繁にエラーが発生する場合は修理を依頼してください。
		<b>電源電圧異常</b> AC アダプタから供給されている電圧が異常です。 天びんに付属している AC アダプタであるか確認してください。
 		<b>ECL 繰り返し性エラー</b> 自己点検機能にて電子制御荷重 (ECL) による繰り返し性の標準偏差 SD が 50d <sup>*1</sup> を超えました。天びんの設置環境を見直してください。  <input type="checkbox"/>  ECL による繰り返し性表示時に表示されます。  <input type="checkbox"/>  ECL による最小計量値 (参考値) 表示時に表示されます。 別冊の取扱説明書の「6-2. 自己点検機能 / ECL による最小計量値 (参考値) の自動設定」参照。
 ↑ 交互 (点滅) ↓ 		<b>フルメモリ</b> 記憶した計量値の数が上限に達しました。新たに計量値を記憶するには、データを削除する必要があります。 別冊の取扱説明書の「11. データメモリ機能」参照。

\*1 「d」は最小表示の単位です。

例えば最小表示が 0.1g の場合、1 d は 0.1g となります。(50 d は 5.0g)

エラー表示	エラーコード	内容と対処例
		<b>フルメモリ</b> 記憶した感度調整 / キャリブレーションテストの履歴が50個に達しました。 これ以上記憶する場合、古い履歴が削除されていきます。 別冊の取扱説明書の「11. データメモリ機能」参照。
		<b>水平の確認</b> 天びん本体の水平器を確認してください。 足コマを回して気泡が円の中央に位置するようにしてください。 水平器の調整または <b>[ON:OFF]</b> を除くキーを押すと警告は解除されます。
	EC, E00	<b>コミュニケーションエラー</b> 通信上のエラーを検出しました。 フォーマットやボーレート等を確認してください。
	EC, E01	<b>未定義コマンドエラー</b> 定義されていないコマンドを検出しました。 送信したコマンドを確認してください。
	EC, E02	<b>実行不能状態</b> 受信したコマンドは実行できません。 例) 計量表示でないのに Q コマンドを受けた場合 例) リゼロ実行中に Q コマンドを受けた場合 送信するコマンドのタイミングを確認してください。
	EC, E03	<b>タイムオーバ</b>  に設定したとき、コマンドの文字を受信中に約1秒間以上の待ち時間が発生しました。 通信を確認してください。
	EC, E04	<b>キャラクタオーバ</b> 受信したコマンドの字数が許容値を越えました。 送信するコマンドを確認してください。
	EC, E06	<b>フォーマットエラー</b> 受信したコマンドの記述が正しくありません。 例) 数値の桁数が正しくない場合 例) 数値の中にアルファベットが記述された場合 送信したコマンドを確認してください。
	EC, E07	<b>設定値エラー</b> 受信したコマンドの数値が許容値を越えました。 コマンドの数値の設定範囲を確認してください。
その他のエラー表示		これ以外のエラー表示のとき、または上記のエラーが解消できないときは、お客様相談センターへお問い合わせください。

## 6. その他の表示



自動感度調整予告マーク（◀ マーク点滅）です。使用中でない場合、点滅を始めてしばらくすると内蔵分銅による感度調整を開始します。  
 （点滅時間は使用環境により異なります）

### アドバイス

マークが点滅していても継続して使用できますが、計量精度維持のため、なるべく感度調整後に使用してください。

## 7. 仕様

### 7-1. GX-L/GF-L シリーズ

GX-L シリーズ (分銅内蔵タイプ)	GX-12001L	GX-22001L	GX-32001L GX-32001LS	GX-32001LD GX-32001LDS	GX-42001L
GF-L シリーズ (ベーシックタイプ)	GF-12001L	GF-22001L	GF-32001L		
ひょう量	12 kg	22 kg	32 kg	32 kg	42 kg
最大表示	12.0084 kg	22.0084 kg	32.0084 kg	32.008 kg 6.2009 kg <sup>*1</sup>	42.0080 kg
最小表示	0.1 g		1 g / 0.1g		0.5 g
繰り返し性 (標準偏差)	0.1 g		0.5 g / 0.1 g		0.5 g
直線性	±0.2 g		±1 g / ±0.2 g		±1 g
内蔵分銅による 感度調整後の精度 <sup>*2</sup>	±1.0 g		±1.5 g		
防塵・防滴仕様	IP65 に準拠				

GX-L シリーズ (分銅内蔵タイプ)	GX-62001L GX-62001LS	GX-62000L GX-62000LS	GX-102000L GX-102000LS
GF-L シリーズ (ベーシックタイプ)	GF-62000L		
ひょう量	62 kg	62 kg	102 kg
最大表示	62.0084 kg	62.084 kg	102.084 kg
最小表示	0.1 g	1 g	1 g
繰り返し性 (標準偏差)	0.2 g	0.7 g	1 g
直線性	±0.5 g	±1 g	±2 g
内蔵分銅による 感度調整後の精度 <sup>*2</sup>	±3 g	±5 g	±10 g
防塵・防滴仕様	IP65 に準拠		

\*1 重い風袋を載せても精密レンジでの計量が可能です。(スマートレンジ機能)

\*2 使用環境は急激な温湿度変化、振動、風、磁気、静電気等の影響がない状態。(GX-L シリーズのみ)



## 7-2. GX-L-K シリーズ

型式承認番号	第 D239 号
使用温度範囲	10℃ ~ 30℃, 85%RH 以下 (結露しないこと)
仕様地域	日本国内 (自己補正付き)
表示書換回数	約 5 回/秒、約 10 回/秒、または約 20 回/秒
通信機能	RS-232C、USB
電源 (AC アダプタ)	入力: AC100 ~ 240V (+10%, -15%) 消費電力: 約 30VA (AC アダプタを含む)
防塵・防滴仕様	IP65 に準拠

GX-L-K シリーズ (分銅内蔵タイプ)	GX-12001L-K	GX-22001L-K	GX-32001L-K GX-32001LS-K	GX-32000LD-K
精度等級	2 級			
ひょう量	12 kg	22 kg	32 kg	32 kg
目量	1 g	1 g	1 g	1 g
補助表示	0.1 g	0.1 g	0.1 g	0.1 g (6.2 kg) <sup>*3</sup>
使用範囲	5 g ~ 12 kg	5 g ~ 22 kg	5 g ~ 32 kg	5 g ~ 32 kg

GX-L-K シリーズ (分銅内蔵タイプ)	GX-62000L-K GX-62000LS-K	GX-102000L-K GX-102000LS-K
精度等級	2 級	
ひょう量	62 kg	102 kg
目量	10 g	10 g
補助表示	1 g	1 g
使用範囲	50 g ~ 62 kg	50 g ~ 102 kg

\*3 (内)は、**TARE** キーまたは **ZERO** キーを押した後で補助表示が表示される範囲です。

### アドバイス

#### 定期検査

「取引」や「証明」に使用する天びんは、2年毎に計量法に基づく定期検査を受ける必要があります。定期検査については、各都道府県計量検定所までお問い合わせください。

※ 検定付きの天びんでは、法規制によりお手持ちの分銅による感度調整は行えません。



[白紙]

## 使い方・修理に関するお問い合わせ窓口

故障、別売品・消耗品に関してのご質問・ご相談も、この電話で承ります。  
修理のご依頼、別売品・消耗品のお求めは、お買い求め先へご相談ください。

### お客様相談センター

電話 **0120-514-019**

通話料無料

受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00、月曜日～金曜日（祝日、弊社休業日を除く）都合によりお休みをいただいたり、受付時間を変更させて頂くことがありますのでご了承ください。

### 修理をご依頼される方へ

詳しくはこちらをご確認ください。

[https://link.aandd.jp/Support\\_Repair\\_Jp](https://link.aandd.jp/Support_Repair_Jp)



2023年04月01日現在のリンク先 URL：

[https://www.aandd.co.jp/support/repair\\_info/pickup.html](https://www.aandd.co.jp/support/repair_info/pickup.html)